

突然襲いかかる火災。
事前の備えが生死を分けます！！

住宅用火災警報器を 設置しましょう。



○火災での死因は多くが逃げ遅れによるもの

すでに報道等で大きく取り上げられているとおり7月25日、京都市の「京都アニメーション」において放火火災が発生し、35人の死者が出ました。

うち20人は、屋上に通じる階段部分に折り重なるようにして亡くなっており、屋上を目指して避難する途中で煙に巻かれ、避難が困難な状態に陥ったとみられています。

この火災からも分かるように火災発生時、炎以上に恐ろしいのが煙です。煙は縦方向に毎秒3～5メートルの速さで広がるといわれています。

このように、一瞬のうちに広がる煙から逃れ、安全に避難するためには火災の早期発見が重要になります。これは住宅火災においても同様です。

○逃げ遅れを防ぐ「住宅用火災警報器」

そこで、役立つのが住宅用火災警報器です。

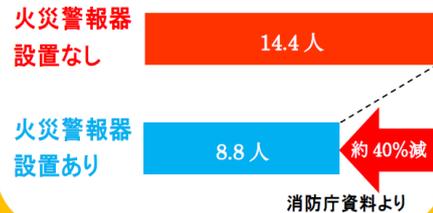
住宅用火災警報器は、火災発生時に熱や煙を感知し、火災発生を早期に知らせることで逃げ遅れを防ぎます。

消防庁の資料では、住宅用火災警報器を設置している場合、設置していない場合と比較し、死者数が40パーセント減少していることが分かります。

自分の命、大切な家族の命を守るため、住宅用火災警報器を必ず設置しましょう。

住宅火災 100 件当たりの死者数

(H26年からH28年)



大切なあの人に...

住宅用火災警報器のプレゼントをお勧めします！

御両親や祖父母、離れて暮らす家族の方等に、日頃の感謝の気持ちを込めて、住宅用火災警報器をプレゼントしてみてもいかがでしょうか。

大切な人に送る大切な命を守るためのプレゼント。安心と真心を届けることになるでしょう。

【問い合わせ】

安達地方広域行政組合消防本部

警防課予防危険物係 0243-24-1577